

保健だより

7月号
松陽こども園

本格的な梅雨に入り、蒸し暑い日が続いています。熱中症は気温が高い戸外だけでなく、室内や車内、気温が低くて湿度が高い日にも起きます。①汗をかいたら着替えやタオルで体を拭く。②喉が乾かなくても水分補給をする。③十分な睡眠、しっかり食事を摂るなど正しい生活を送り、元気に過ごせるようにしましょう。



《夏に流行しやすい病気》

夏に気を付けたい感染症の代表的な4つ挙げてみました。気になる症状を出たら病院受診をお願いします。



(水いぼ)

(症状)

(手のひらと足の裏を除いた)体のいたるところにできるウイルス性のイボ。

(原因)

水いぼができている子の皮膚と皮膚が触れ合ったり、使ったタオルを共同で使用したりで感染します。(兄弟、姉妹間で感染することが多いです)

(登園基準)

特になし。

*水いぼは大きくなるとつぶれてとびひの原因になります。

*水いぼがつぶれてジュクジュクの時はプール、泥んこ、水遊びは行えません。



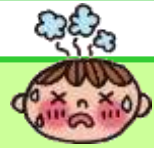
(手足口病) 警報が出ています

(症状)

手のひら、足の裏、お尻、口の中に水疱ができます。(水疱は全身にできることも)熱が出ることもあります。口の中に水疱ができると、痛みで飲食できないことがあります。

(登園基準)

24時間熱がなく飲食できる状態。



(ヘルパンギーナ)

(症状)

突然の高熱と喉の痛み、口内炎が特徴です。多くの場合、2~4日の自然経過で解熱して治癒していきます。

(登園基準)

24時間以内で熱が出ておらず、飲食ができる。



(プール熱・咽頭結膜炎)

(症状)

3~5日ほどの高熱、扁桃腺炎、結膜炎です。感染力が強いので、大人も感染します。

(登園基準)

結膜炎の充血、熱等の主な症状が消失したあと2日を経過している。



《熱中症予防のための取り組み》

(しっかり水分補給しています)

らいおん組と以上児組の子ども達は毎日水筒を持ってきています。園では、保育教諭が「1. 2. 3. 4. 5」と数をかぞえるとそのあいだゴクゴクと飲み、飲む量の目安にしています。

また、お昼にどれだけ水筒の飲み物が少なくなっているか、なくなっているかなど保育教諭が一人一人の水筒をチェックしています。量に応じて水筒にお茶を足しています。

飲むの上手になったよ



【らいおん組の子ども達の飲水の様子】

(園庭の日よけ)



夏の時期は日よけのため、砂場の周囲にタープを貼っています。

タープはオレンジ色と緑色の2張りあるよ

(シャワーの場所)

シャワーをするところにも目隠しのついたテントがあります。

シャワーをする時、裸になるので外から見えないよう配慮しています。



園からのお願い

蚊が活発に活動する時期に入っています。園では虫よけスプレーでの虫よけ予防を子ども達に行っておりません。各ご家庭で登園前に虫よけスプレーを行って来てください。

また、虫パッチンなどの張るタイプのかゆみ止めは剥がれた時、小さいお子様が拾って誤飲する可能性があるため貼ったままの登園は禁止しています。貼ってある場合はこちらで剥がさせていただきます。園で使用するかゆみ止めは、△ヒS(チューブタイプ)です。使用したくない場合は園の方に申し出て下さい。

ご協力よろしくをお願いします。